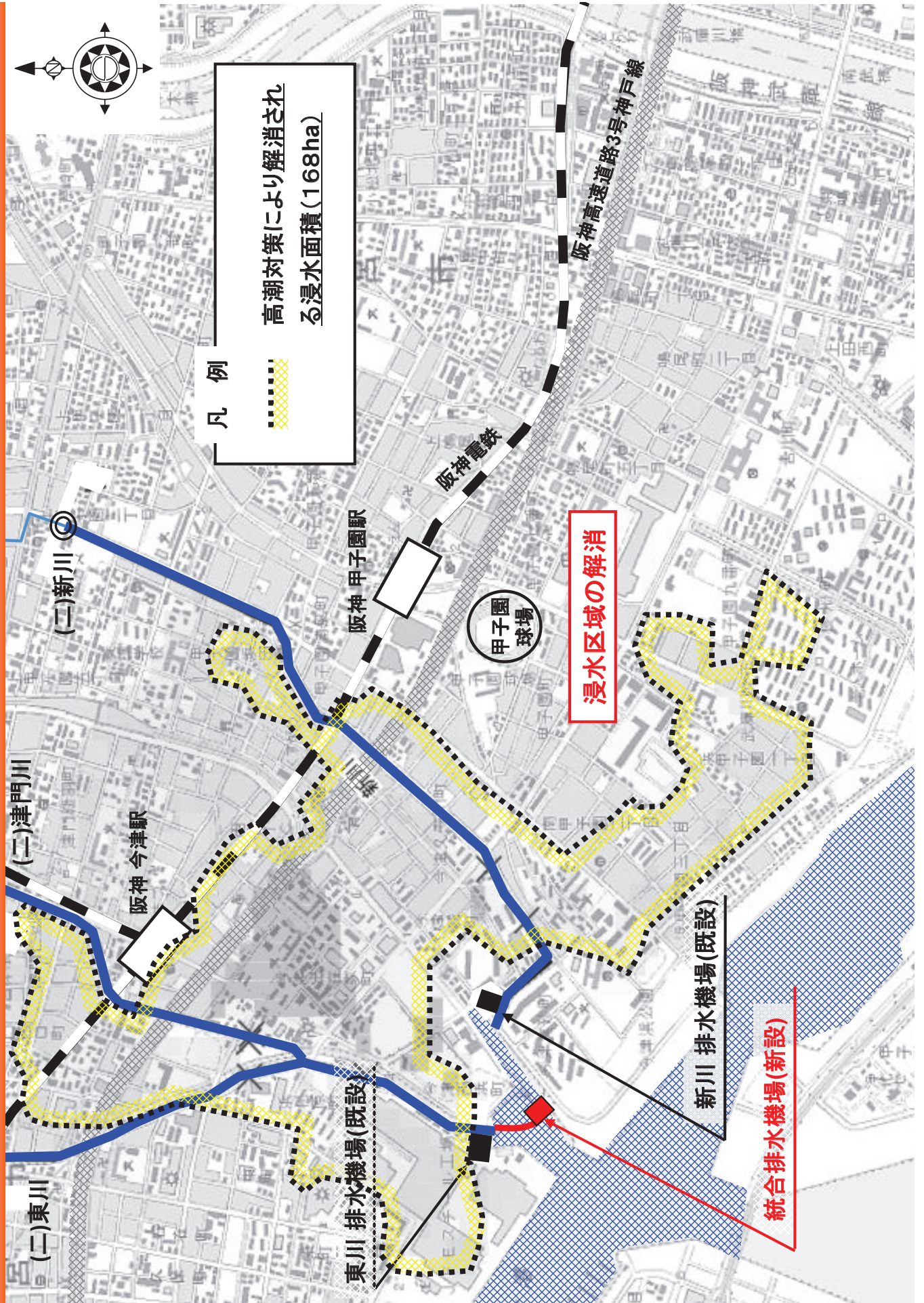


事業効果(高潮)



老朽化の現状

新川排水機場



築約50年経過



排水機場周辺地
盤の沈下
(約40cm)



主原動機
(主ポンプエンジン)

- ・油漏れ
- ・サビ

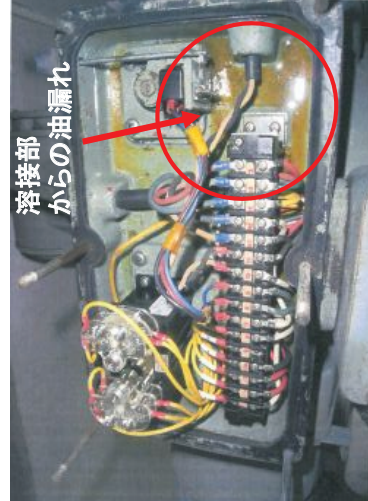
東川排水機場



築約50年経過



主原動機
(主ポンプエンジン)
・エンジンシリンダー
の腐食



動力伝達装置
(減速機)

- ・油漏れ

1. 実施工程表

工種	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
水門	■						
堤防	■						
排水機場敷地埋立		■					
排水機場				■			

<凡例>
■ 実施計画

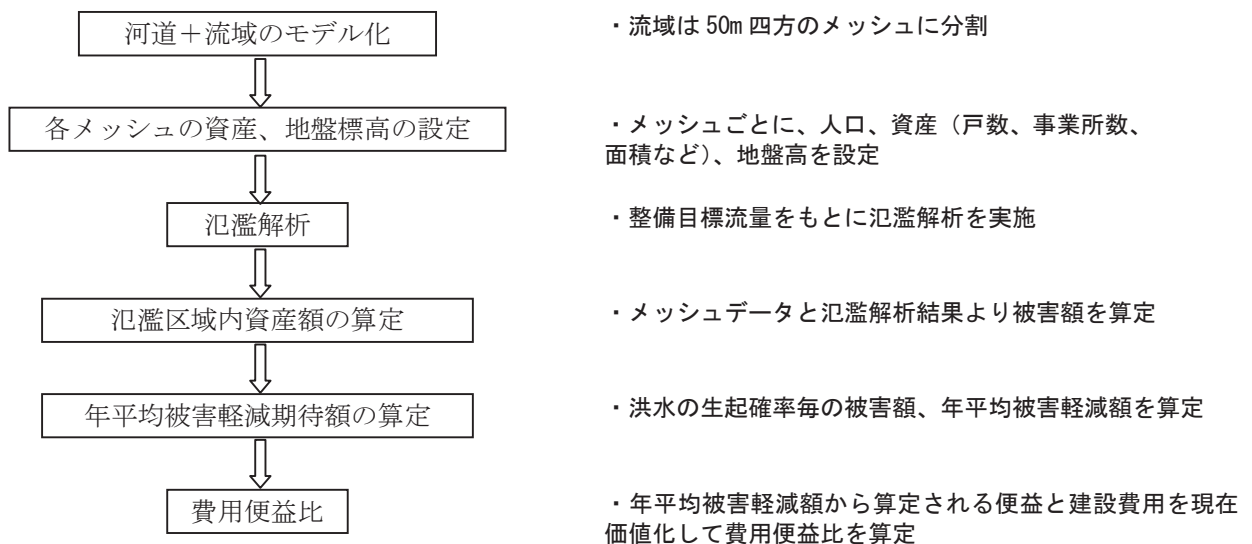
2. 事業効果について

(1) 費用対効果

① 便益 (B) の項目

- 1) 便益 = 治水事業を実施することによる被害軽減期待額を現在価値化被害額 = 一般資産被害 (家屋、家庭用品、事業所償却資産、農漁家償却資産等) + 農産物被害 + 公共土木施設等被害 + 営業停止被害 + 応急対策費用
- 2) 費用 = 「建設費 + 維持管理費」を現在価値化

治水経済調査マニュアル (案) 国土交通省河川局 (平成17年4月)



② 費用便益比 (B/C) 算出根拠

便益 (B)		費用 (C)			B/C
総便益費 (百万円)	代表的な効果	総費用 (百万円)	事業費 (百万円)	維持管理費 (百万円)	
254,403	高潮による浸水被害の解消 床上浸水戸数 2,580戸 床下浸水戸数 8,393戸 浸水面積 168ha ⇒ 解消	16,283	12,275	4,008	15.6

(2) 費用対効果に含まれない効果

- ① 道路の交通途絶による波及被害の軽減
- ② 医療・社会福祉施設、防災拠点施設、文化施設等の被害の軽減
- ③ 津波による浸水被害の軽減
- ④ 多様な生物の生活環境の保全・再生・創出
- ⑤ 親水空間の整備

河川事業の効果

対象事業：地震高潮対策河川事業（二）新川・東川

（１）費用対効果

評価の視点	効果項目（費用対効果の便益内容）
治水安全度の向上	浸水被害の軽減 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・一般資産被害 （家屋、家庭用品、事業所償却資産、農業家償却資産等） ・農産物被害、公共土木施設等被害、営業停止被害、応急対策費用 </div>

（２）費用対効果に含まれない効果

評価の視点	効果項目	該当する事業内容等
社会経済活動等の安定	道路、鉄道等の交通途絶による波及被害の軽減	○ 阪神電鉄、阪急電鉄今津線及び国道 2 号・43 号、県道浜甲子園甲子園口停車場線等の交通途絶による波及被害の軽減
	医療・社会福祉施設、防災拠点施設、文化施設等の被害の軽減	○ 甲子園訪問看護センター、西宮市総合福祉センター等、各警察署、各消防署等の機能低下による被害軽減効果
	津波による浸水被害の軽減	○ <ul style="list-style-type: none"> ・一般資産被害の軽減 （家屋、家庭用品、事業所償却資産、農業家償却資産等） ・農産物被害、公共土木施設等被害、営業停止被害、応急対策費用の軽減
魅力ある河川空間の創造	多様な生物の生活環境の保全・再生・創出	○ 埋め立て面積の最小化を図ることにより、生物の多様な生活環境への影響を軽減
	親水空間の整備・景観への配慮	○ 景観に配慮した排水機場の建築デザインにより周辺景観との調和を図る

※○印は当該事業効果の主な項目